

青葉通仙台駅前エリア 未来ビジョン中間案に関するアンケート結果

このアンケートは無記名であり、所属・氏名等の公表はいたしません。
個人が特定される文言等については、
表現の変更あるいは非公表とさせていただきます。ご容赦ください。

問1 未来ビジョンは協議会で作成・共有し、将来組成する運営母体※、このエリアに関わる関係者（沿道の事業者、テナント、プレイヤー等）、来訪者と共有、共創していく認識は持てましたか？
 ※協議会自体が運営母体になる想定ではありません。
 （未来ビジョン中間案 p4、p9）

認識の度合い	理由
おおよそ持てた	—
おおよそ持てた	—
持てた	—
おおよそ持てた	—
持てた	—
おおよそ持てた	—
おおよそ持てた	・新しい言葉(センター・オブ・ヒューマニティ)が出てきて、理解が難しくなった。 ・この未来ビジョンは、初見の方には、理解が難しいと思いました。
おおよそ持てた	—
おおよそ持てた	—
あまり持てない	・多様性や人間性に重きを置いた、時代の変化に柔軟に対応できるまちづくりをソフト・ハードともに目指すことと理解しましたがこれで正しいでしょうか。人によってとらえ方は様々で正解というのは無いのかもしれませんが、「未来ビジョン」ということで抽象度を上げた議論だったのかもしれませんが、概念的な話しが中心で具体の事例やイメージの議論が少なかったことから、協議会のメンバーが同じ方向性で将来像を捉えているかどうかは少し不安なところがあります。
おおよそ持てた	—
あまり持てない	運営母体となりうる者が明確ではない中で、認識が持てる持てないの評価は難しいというのが正直な感想です
おおよそ持てた	—
あまり持てない	このエリアに関わる関係者とはどこまでの方々を対象としているのか プレイヤーとは、どのような方がを考えているのか 詳細の説明がほしい。
おおよそ持てた	—

問2 将来像(ビジョン)について、本日の説明を踏まえた理解度をお知らせください。
 なお、フレーズは変更せず、いただいたご意見は説明文、説明図の検討に活用します。
 (未来ビジョン中間案 p5)

理解の度合い	理由・改善点
おおよそ理解できた	—
理解できた	—
理解できた	—
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	—
理解できた	—
おおよそ理解できた	・自分なりに理解できたつもりですが、メンバーが共通のイメージを持てるよう、先進事例などを参考にしながら具体のイメージに関する議論がもう少しできれば、フレーズに込めた意味合いや思いをシャープに共有できたのではないかと思います。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	「この将来像単体では」という意味ではおおよそ理解できましたが、他地域との関係等々不明な部分はまだあると感じました。
おおよそ理解できた	—
あまり理解できない	多面的価値、あらゆるゆたかさ、愛着の起点が、素直に理解できるような説明が必要だと思う。あえて、あいまいにしようという意図があるのであればこのままで結構です。
—	説明文にある「まちなか」とはどこを指しているのか。駅前がまちなかの中心なのでは？ここで言いたいのは、おおまち(一番町)やその周辺なのではないか、表現を考えてみてほしい。
おおよそ理解できた	—

問3 価値観(バリュー)について、本日の説明を踏まえた理解度をお知らせください。
 なお、フレーズは変更せず、いただいたご意見は説明文、説明図の検討に活用します。
 (未来ビジョン中間案 p6)

理解の度合い	理由・改善点
おおよそ理解できた	—
理解できた	キャッチーな言葉は必要ですが、それが多すぎても問題だと思います。 たとえば、「バリュー」という用語は必要でしょうか？ カタカナを多用すれば、現代感は醸し出せますが、高齢者や中高生には理解されにくくなります。 多くの世代や様々な職種の人が理解できる表現が望ましいと思います。
理解できた	—
理解できた	—
おおよそ理解できた	—
理解できた	—
あまり理解できない	英語表記について違和感があるので、説明図等での工夫が必要ではないか。 「グラデーション」、「ポジティブ」という単語も、単体だとイメージが沸くが、「グラデーション・ポジティブ」となると曖昧なイメージに感じる。
あまり理解できない	・価値観(バリュー)、方向性(コンセプト)の違いがわかりづらく、似たような内容であると感じました。どちらも価値観になり、方向性になりうると感じました。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	・自分なりに理解できたつもりですが、メンバーが共通のイメージを持てるよう、先進事例などを参考にしながら具体的なイメージに関する議論がもう少しできれば、フレーズに込めた意味合いや思いをシャープに共有できたのではないかと思います。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	この地区に特定してということではおおよそ理解できましたが、他地域との関係等々不明な部分はまだあると感じました。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	—

問4 方向性(コンセプト)について、本日の説明を踏まえた理解度をお知らせください。
 なお、フレーズは変更せず、いただいたご意見は説明文、説明図の検討に活用します。
 (未来ビジョン中間案 p71)

理解の度合い	理由・改善点
おおよそ理解できた	—
理解できた	—
理解できた	—
あまり理解できない	事務局メンバーとしてたっぷり時間を割いて議論をしたが、今回の反応を見て、再度、バリューとコンセプトの位置関係の説明が必要だし、難しいと感じた。
おおよそ理解できた	—
理解できた	—
あまり理解できない	問3と同じように、英語表記による違和感があるので、説明図等での工夫が必要ではないか。
あまり理解できない	・価値観(バリュー)、方向性(コンセプト)の違いがわかりづらく、似たような内容であると感じました。どちらも価値観になり、方向性になりうると思いました。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	・自分なりに理解できたつもりですが、メンバーが共通のイメージを持てるよう、先進事例などを参考にしながら具体的なイメージに関する議論がもう少しできれば、フレーズに込めた意味合いや思いをシャープに共有できたのではないかと思います。
おおよそ理解できた	—
おおよそ理解できた	この地区に特定してということではおおよそ理解できましたが、他地域との関係等々不明な部分はまだあると感じました。
おおよそ理解できた	—
あまり理解できない	センター・オブ・ヒューマニティを方向性とする。人間らしい街づくりをして行きましようという事だけか、他の意味合いがあるものなのか、少し説明があるとありがたい。
—	説明文の「ひととなり」という言葉は意味が分かりづらい。元々の性格やポテンシャル等を意味する言葉であり、広く人間性を意味するヒューマニティとは違うのではないか。社会実験では、掘り起こすための言葉として使ったが、ここではあまり使わないでほしい。説明文の最後にある「センター・オブ・ヒューマニティにすることを目指します」という一文が、どういう状態を目指しているのか、具体的なイメージを示さないと想像できない。
おおよそ理解できた	—

問5 未来ビジョン全体について、ご意見、ご感想がございましたらご自由にご記載ください。
※具体的なお意見、ご指摘についてはページ数をご記載ください。

ご意見・ご感想

上述の通り、各ポイントについては概ね理解できましたが、全体感として、各ポイントがどのように繋がっているかの詳細(具体的な説明があるとより良くなるのではと思いました。特に、「将来像(ビジョン)」と「方向性(コンセプト)」がどのように関係・関連してくるのか、うまく理解できず、今後検討を深めるうえでも補足いただけると幸いです。

東北の雄としての矜持を持った対応が望まれるように思います。

・「未来ビジョン」について
今回の示し方については、一般的なビジョンという視点では問題ないと思います。

・ビジョン策定後について
ビジョン(P5)に示すように、当該地区には多面的価値が数多くあることは確かだと思ふ反面、コンセプト (P7)に掲げる一人ひとりの感情等を想像し豊かな気持ちになれるか検討するということを踏まえると、多種多様な選択肢が生じることになり、「未来ビジョン」の実現に向けた取り組みの立案はかなり難しいのではないかと考えております。

将来像(ビジョン)として示された「多面的価値をいかしあい あらゆるゆたかさや仙台への愛着の起点となるエリアをつくる」という方向性は、仙台の玄関口としての重要性や、様々な都市機能が共存する特性を的確に捉えており、非常に分かりやすく理解できました。特に、説明文中での「様々なひと、交通網、商業施設、公共空間といった要素の異なる価値が共存している特性から、このエリアは多面的価値のあるエリアといえます」という解説が、ビジョンの意図を明確に説明していると感じました。また、方向性(コンセプト)として示された「センター・オブ・ヒューマニティ」は、人の感情や人間性を中心に据えたエリアづくりという意図が明確に伝わってきました。特に、ベンチやサインなどの具体例を挙げながら、使う一人一人の表情や感情を想像し、快適さや安心感を考慮するという説明は、非常に具体的で理解しやすいものでした。

協議会でも申し上げましたが、本エリアを市内中心部各エリアへの回遊の起点としてイメージできるような工夫も必要かと思えます(広い範囲で見ることが可能であれば、東北の各エリアへの回遊の起点としても)。

・価値観(バリュー)、方向性(コンセプト)の違いがわかりづらく、似たような内容であると感じました。どちらも価値観になり、方向性になりうると思いました。
・一つ一つの言葉自体の理解は進んできました、その関係性(将来像、(ビジョン)、価値観(バリュー)、方向性(コンセプト)の関係性)がわかりづらい。一度、その関係性を文章で表現してみたいです。併せて、関係性の例示があるとわかりやすくなるのではないかと思います。

ご意見・ご感想

ビジョン全体についての感想というより、中間案までを通し改めて感じた本エリアへの願いになってしまいますが、未来に渡って仙台の起点の地で有り続け、皆様の記憶に残る場所であってほしいと感じました。

(記憶に残る: 来訪者の「また来たい!」や愛着・誇り等、ポジティブな記憶に残る)

本エリアは、まち全体の将来・未来に大きく影響する起点のエリアだと考えています。

このビジョン策定で終わりではなく、行政と民間が一体となり本気でこのエリアを実際に発展させていかなければならないと考えます。本協議会を通して更に強く感じました。

P3・P9で表現されていますが、これを見た方々に『どうせこれで終わりでしょ』と思わせない事が必要だと感じます。

この地区単体で成り立つ話ではないと思いますので、例えば市中心部の他地区(定禅寺通周辺等)の同様のまちづくりとの取組との関係性やそれを踏まえたもう少し広い範囲での方向性などとの連動があつて初めて意味のある検討内容になるのかと思いましたが、現在の取りまとめでは、そのあたりが見えてこないため、今後の広がりが見込めるものなのか、評価が難しいと感じました。

P6のグラデーション・ポジティブの説明文の中に「こうしたひとの違いや場の変化などのグラデーション」との表現があります。ここでいう「ひとの違い」とは、その前段に書かれている「ルーツや年齢、エリアを利用する時間帯や訪れる目的」を指すのだと思うのですが、特に時間帯や目的についても「ひとの違い」と表現することに多少違和感があります。「場の変化」に「交通網」が含まれることにも同様の違和感があります。